

対象年度		令和 8年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		国際交流推進事業						予算事業名		国際交流推進事業費			
予算科目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分					
			02	01	11	2001	経常経費	根拠法令					
総合計画体系		未来を担う子どもと 生き生きとした市民を育む地域を目指そう 多様性を尊重し合える社会づくり 国際化に対応したまちづくりの推進						事業の区分		主要事業			
								担当課係等		企画政策課 政策調整係			
事業期間		継続 (昭和63年度～ 年度)											
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】						
<ul style="list-style-type: none"> <li>国際化に対応した多文化共生社会の実現</li> <li>国際親善姉妹都市との相互理解が深まり、交流が活発になる。</li> <li>市民の国際理解及び在住外国人と市民との相互理解が深まる。</li> </ul>							昭和63年、市の国際交流推進のため、任意民間団体である結城市国際交流友好協会が設立され、支援が始まった。 ベルギー王国メッヘレン市:平成8年10月姉妹都市締結 タイ王国メーサイ市:平成24年11月姉妹都市締結						
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】						
(1) 国際親善姉妹都市との交流 ・ イベント等でのPR活動 ・ メーサイ市との人事交流 (2) 在住外国人と市民の交流の機会の提供 ・ 国際交流広場の開催 ・ 多文化共生推進セミナーの開催 (3) 民間団体の育成支援 ( (一社) 結城市国際交流協会、結城日本語教室のびる会) (4) 地域における日本語教育の体制づくり ・ 日本語教室への支援 ・ やさしい日本語の普及							<ul style="list-style-type: none"> <li>在住外国人を含む市民</li> <li>国際親善姉妹都市</li> <li>国際交流協会、日本語教室</li> <li>地域の企業、学校、団体</li> </ul> 【事業をとりまく環境の変化】 ベルギー王国メッヘレン市については先方の意向もあり、直接の交流は現在停滞している。タイ王国メーサイ市については、人事交流を通して行政間の相互交流図っている。 平成28年度に、(一社)結城市国際交流協会が設立され、さらなる国際交流事業の展開が期待されたが、新型コロナウイルス感染症の影響で事業が縮小したまま活動が停滞している。 令和元年、日本語教育の推進に関する法律が施行され、地方公共団体						
【令和 8年度 事業内容】				【令和 9年度 事業内容】				【令和10年度 事業内容】					
<ul style="list-style-type: none"> <li>国際親善姉妹都市との交流</li> <li>国際交流協会、日本語教室への支援</li> <li>多文化共生推進セミナーの開催</li> <li>外国人や支援者に対する情報発信</li> <li>日本・ベルギー友好160周年・行幸啓10周年記念事業</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>国際親善姉妹都市との交流</li> <li>国際交流協会、日本語教室への支援</li> <li>多文化共生推進セミナーの開催</li> <li>外国人や支援者に対する情報発信</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>国際親善姉妹都市との交流</li> <li>国際交流協会、日本語教室への支援</li> <li>多文化共生推進セミナーの開催</li> <li>外国人や支援者に対する情報発信</li> </ul>					
■ 事業費													
				R06年度		R07年度							
財 源 内 訳	国庫支出金			0		0							
	県支出金			0		0							
	地方債			0		0							
	その他			0		0							
	一般財源			242		421							
歳入計 (千円)				242		421							
歳 出 内 訳	節 (番号 + 名称)			金額 (千円)		金額 (千円)							
	07 報償費			76		100							
	08 旅費			7		17							
	10 需用費			6		61							
	13 使用料及び賃借料			0		88							
	18 負担金補助及び交付金			153		155							
歳出計 (千円) (A)				242		421							
伸び率 (%)						73.96							
備考		総合計画110ページ 予算書48ページ											

# 令和 6年度行政評価シート

## ■指標

種類	指標名	単位		R06年度	R07年度	R08年度
活動 指標	国際交流のPRイベント等の開催	回	目標	3.00	3.00	3.00
	国際交流への理解を深めるPRイベントや在住外国人と市民との交流機会の提供などを行った回数		実績	3.00	0.00	0.00
	広報回数		目標	20.00	20.00	20.00
	広報紙やホームページ、SNSにおいて、国際交流や在住外国人向け情報に関する広報を行った回数		実績	22.00	0.00	0.00
成果 指標			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

## ■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	グローバル化が進み外国人住民が増加する中で、市民の国際交流や多文化共生への関心・理解を深めることは重要
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	多文化共生は行政が取組むべき課題。また、民間の国際交流団体や日本語教室の支援など、行政にしかできないことがある。
	手段の妥当性	B どちらとも言えない	専門的な知見や経験を有する国際交流協会などに外部委託する方法もあり得る。
効率性	コストの効率性・人員効率	C 改善の余地はある	国際交流に留まらず、多文化共生に関する課題のウェイトが大きくなっている。現在の人員で複数の業務を兼務しながらの運営は非効率であり、専任部門や専属人材の設置が求められる。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	多文化共生は全ての市民に関係することであるが、国際交流の関心に温度差がある。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	コロナ禍以降、外国人と地域との交流の機会創出ができていない。令和6年度に初開催したセミナーでは市民の関心の高さが伺えたため、機会の提供を継続することが成果につながると考える。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	新型コロナウイルス感染症の影響で、事業が停滞していた期間があったが、徐々に再開してきている。一方で、多文化共生等の課題解決に向けては、早急な対応が求められる。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
多文化共生の対応は今後ますます重要になっていくことが予想されるため、問題や課題が顕在化する前に先進自治体の取組などを参考に体制を整えておく必要がある。また、結城市国際交流協会について、実質的な事業運営ができていない状況である、今後、行政と民間とが連携して課題に対応していくためには、協会の立て直しが必要である。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
国際化・多文化共生推進に係る全庁的な課題や地域の課題を集約して対処する必要があるため、専任人材の配置を検討する。国際交流や多文化共生をテーマに学び・交流の機会を提供しながら、関心のある住民を地域における担い手として育成し、将来的に、行政だけでなく地域全体として対応していく。			

## ■方向性

<p>1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>方向性の具体的内容</p> <p>外国人市民の増加や多国籍化において、相互理解のための事業の推進は必要不可欠である。先進事例を参考にしながら、姉妹都市との交流やボランティア団体、市内外の企業や関係団体とも連携し、多文化共生社会の実現を図っていく。</p>
<p>2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）</p> <p>上記評価のとおり</p>
<p>管理課連絡欄</p>